



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6167 URL https://www.fujidie.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西嶋 守男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,235	△21.7	△194	—	△10	—	237	△56.1
2020年3月期第3四半期	13,071	△5.1	664	△36.9	777	△31.0	540	△34.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 179百万円(△69.1%) 2020年3月期第3四半期 580百万円(△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	11.87	—
2020年3月期第3四半期	27.03	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,019	18,539	80.5
2020年3月期	24,815	18,969	76.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 18,539百万円 2020年3月期 18,969百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,820	△20.7	△180	—	30	△97.0	270	△56.8	13.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	20,000,000株	2020年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	199,071株	2020年3月期	36株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	19,994,879株	2020年3月期3Q	19,999,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。経済活動の再開に伴い個人消費や生産に持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加するなど、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは「挑戦」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。また、2018年度（2019年3月期）から、3ヵ年を対象期間とした中期経営計画を策定しており、中期経営計画の3年目となる2020年度（2021年3月期）も、更なる企業価値の向上に向けて、1. 成長力・収益力の強化、2. 顧客ニーズの変化への柔軟な対応、3. 海外展開、4. 新製品開発、新技術開発の諸施策に取り組んでおります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、営業員によるお客様への訪問自粛や展示会等の中止により、十分な営業活動を行えない厳しい状況が続いております。

超硬製工具類では、溝付ロールや粉砕工具の販売が引き続き堅調に推移しました。一方、市況の変化等により超高压発生用工具及び熱間圧延ロール、混練工具の販売が低調となり、売上高は2,837百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

超硬製金型類では、光学素子成形用金型の販売が前年度特需の反動減で低調に推移しました。また、自動車部品生産用金型の販売については、一部次世代自動車向け製品の取り込みがあったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な自動車需要の落ち込みに伴う自動車関連の市況悪化の影響を受け低調となり、売上高は2,480百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

その他の超硬製品では、海外での半導体関連需要の拡大による超硬金型素材の販売増加やレンズ金型の販売が堅調に推移したものの、自動車部品生産用金型の超硬金型素材向け販売が低調となり、売上高は2,503百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

超硬以外の製品では、KF2製の混練工具の販売が増加したものの、引抜鋼管及び鋼製やセラミックス製の自動車部品生産用金型の販売が低調となり、売上高は2,415百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,235百万円（前年同期比21.7%減）となりました。利益につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等で売上高が減少したことにより、営業損失は194百万円（前年同期は営業利益664百万円）、経常損失は10百万円（前年同期は経常利益777百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別利益として災害保険金収入375百万円を計上したことにより、237百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、23,019百万円（前連結会計年度末24,815百万円）となり、1,795百万円減少いたしました。流動資産は12,358百万円（前連結会計年度末13,619百万円）となり、1,260百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が683百万円減少、電子記録債権が193百万円減少、原材料及び貯蔵品が145百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は10,660百万円（前連結会計年度末11,195百万円）となり、534百万円減少いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具（純額）が304百万円減少、建物及び構築物（純額）が224百万円減少したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、4,480百万円（前連結会計年度末5,845百万円）となり、1,365百万円減少いたしました。流動負債は2,761百万円（前連結会計年度末4,115百万円）となり、1,354百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が547百万円減少、未払費用が427百万円減少、未払金が326百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は1,718百万円（前連結会計年度末1,730百万円）となり、11百万円減少いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、18,539百万円(前連結会計年度末18,969百万円)となり、429百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が237百万円増加、剰余金の配当により利益剰余金が479百万円減少、自己株式の取得により自己株式が129百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月13日付の「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,153	5,028
受取手形及び売掛金	3,282	2,599
電子記録債権	1,063	869
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	209	221
仕掛品	1,437	1,347
原材料及び貯蔵品	1,242	1,096
その他	232	198
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	13,619	12,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,225	4,001
機械装置及び運搬具（純額）	2,951	2,646
工具、器具及び備品（純額）	291	234
土地	2,702	2,678
建設仮勘定	35	39
有形固定資産合計	10,207	9,600
無形固定資産		
その他	121	107
無形固定資産合計	121	107
投資その他の資産		
投資有価証券	232	303
長期貸付金	14	13
繰延税金資産	593	602
その他	25	33
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	866	952
固定資産合計	11,195	10,660
資産合計	24,815	23,019

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,045	1,497
短期借入金	30	27
1年内返済予定の長期借入金	12	5
リース債務	17	17
未払金	758	432
未払費用	634	207
未払法人税等	241	17
賞与引当金	247	351
役員賞与引当金	15	—
その他	113	206
流動負債合計	4,115	2,761
固定負債		
長期借入金	2	—
リース債務	26	17
繰延税金負債	1	5
役員退職慰労引当金	1	1
退職給付に係る負債	1,695	1,692
その他	2	2
固定負債合計	1,730	1,718
負債合計	5,845	4,480
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164	164
利益剰余金	18,621	18,378
自己株式	△0	△129
株主資本合計	18,785	18,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	79
為替換算調整勘定	221	101
退職給付に係る調整累計額	△62	△54
その他の包括利益累計額合計	184	125
純資産合計	18,969	18,539
負債純資産合計	24,815	23,019

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	13,071	10,235
売上原価	10,063	8,291
売上総利益	3,008	1,944
販売費及び一般管理費	2,343	2,138
営業利益又は営業損失(△)	664	△194
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	10	6
受取賃貸料	18	18
補助金収入	89	4
雇用調整助成金	1	174
その他	7	5
営業外収益合計	136	215
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	16	28
その他	3	1
営業外費用合計	23	32
経常利益又は経常損失(△)	777	△10
特別利益		
固定資産売却益	0	0
災害保険金収入	—	375
特別利益合計	0	375
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	0
減損損失	5	7
投資有価証券評価損	9	—
特別損失合計	16	8
税金等調整前四半期純利益	761	356
法人税等	221	118
四半期純利益	540	237
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	540	237



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	540	237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	53
為替換算調整勘定	16	△119
退職給付に係る調整額	12	7
その他の包括利益合計	39	△58
四半期包括利益	580	179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	580	179
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

当社は、2020年12月22日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、2020年12月23日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、自己株式199,000株を取得しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が129百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が129百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日至2020年12月31日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日至2020年12月31日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。